

第2回鎌ケ谷市コミュニティバス運営検討委員会議事録

1. 日 時 令和6年2月9日（金） 10:00～11:30
2. 場 所 鎌ケ谷市役所 6階 第1委員会室
3. 出席委員
 - ・鎌ケ谷市地域公共交通会議委員（学識経験者）
小早川 悟、成田 斉
 - ・コミュニティバス運行会社の職員
太田 英寿、窪田 智之、徳永 昌子（代理）
 - ・関係団体から推薦された者（鎌ケ谷市商工会、鎌ケ谷市自治会連合協議会、鎌ケ谷市社会福祉協議会、鎌ケ谷市老人クラブ連合会）
坂本 康政、横井 道男、徳田 訓康、田尻 昌治
 - ・本市の職員（道路河川管理課長、社会福祉課長、高齢者支援課長）
白倉 栄太郎、今井 崇徳、橋本 晃（代理）
4. 欠席委員
 - ・関係行政機関（鎌ケ谷警察署、東葛飾土木事務所）
河野 靖、芦村 健爾
5. 事務局 都市建設部：葛山部長、崎田参事
都市計画課：長谷川課長
都市政策室：浜田室長、鈴木主事、伊藤技師
6. 傍聴者 5人
7. 議 案 鎌ケ谷市コミュニティバスききょう号の運行について
 - ①アンケート結果の共有
 - ②運行ルート素案の提示
8. 配布資料 傍聴人に対して会議当日に配布した資料は、意思決定前のものであり今後の協議次第で運行ルートの変更もあるため、市民の誤解や憶測を招き、不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあるとして会議終了後に回収した。
9. 議 事

<p>司会</p>	<p>これより第2回鎌ケ谷市コミュニティバス運営検討委員会を始めさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、鎌ケ谷市コミュニティバス運営検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、都市計画課都市政策室の伊藤と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>なお、会議録を作成する都合上、当委員会での会話は録音をさせていただきますこと、あらかじめご了承ください。</p> <p>それでは初めに、都市建設部長の葛山よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>都市建設部長（挨拶）</p>	<p>都市建設部長の葛山でございます。</p> <p>本日はお忙しい中、鎌ケ谷市コミュニティバス運営検討委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。また日頃より市政につきましてご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて鎌ケ谷市のコミュニティバスききょう号は、平成13年度から運行しており、現在3系統5路線で運行しておりますが、コミュニティバスは、お年寄りの方やお体の不自由な方、お子様連れの方、お車などの交通手段をお持ちでない方の移動手段、そして社会参加の促進や交通不便地域の解消など目的に運行しており、コロナ禍の期間を除きまして、利用者数は年々増加しているところでございます。</p> <p>このような中、前回の検討委員会では、コミュニティバスの現状や、アンケートの実施につきましてご議論いただきました。本日は、市民の皆様、そしてバス利用者の方々を対象に実施させていただきましたアンケート調査の結果についてご報告させていただくとともに、市民の皆様からのご要望などを踏まえた運行ルートの素案について提示させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はよろしくお願いたします。</p>
<p>司会</p>	<p>葛山部長、ありがとうございました。都市建設部長は公務により、ここで退室いたします。</p> <p>会議に入ります前に本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の資料は事前に郵送しておりました資料も含め、ご案内いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 委員名簿 3 座席表 4 コミュニティバス運行ルート時刻表 <p>残りは事前に郵送しておりました。</p>

司会	<p>5 第2回鎌ケ谷市コミュニティバス運営検討委員会 6 公共交通機関に関するアンケート調査結果 7 コミュニティバスききょう号に関するアンケート調査結果 以上の7点でございます。 運行ルートของ素案の資料は後程お配りいたします。現時点で不足等はございませんでしょうか。 それでは、鎌ケ谷市コミュニティバス運営検討委員会設置要綱第6条第1項の規定により、小早川委員長に議長をお願いし、議事に入りたいと思います。それでは小早川委員長よろしくお願ひいたします。</p>
委員長	<p>皆さんおはようございます。 それでは第2回コミュニティバス運営検討委員会を開会したいと思います。 まず、ただいまの出席委員数につきまして事務局よりご報告お願ひいたします。</p>
事務局	<p>ただいま14名中12名の委員のご出席をいただいております。 要綱第6条第2項の規程の過半数を超えておりますので、会議は成立しております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。 次に、会議録の署名委員の選任について、委員の皆様にお諮りしたいと思います。当委員会の会議録につきましては、委員会終了後事務局にて作成することになっております。 会議録の署名委員につきましては、窪田委員と横井委員の2名をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員全員	<p>— — —異議なし— — —</p>
委員長	<p>ありがとうございます。 ご異議がございませんので、会議録署名委員は窪田委員、横井委員の2名をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。 議事の前に、本委員会は、鎌ケ谷市コミュニティバス運営検討委員会設置要綱第7条の規定により、会議は公開することとなっております。 本日、傍聴を希望される方がいらっしゃるか事務局のほうでご確認いただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>本日、傍聴を希望される方が、5名お見えになっております。</p>

委員長	<p>本日、傍聴者の方がいらっしゃるので、その取扱いについて、お諮りしたいと思います。</p> <p>本日の検討委員会について傍聴を希望する方が5名お見えになっておるとのことですが、本日の検討委員会の内容の中に鎌ヶ谷市情報公開条例第8条各号に定める不開示情報等が含まれているかの有無を確認したいと思います。</p> <p>また、傍聴者への配布資料については、事務局がどのようにするか判断をしていますか。</p>
事務局	<p>今回の検討委員会での検討事項の中には、鎌ヶ谷市情報公開条例第8条各号に定める不開示情報等は含まれておりません。</p> <p>しかし、本日の会議資料は意思決定前のものであるため、傍聴人への配布資料は、会議終了後に回収させていただきたいと考えています。</p>
委員長	<p>ただいま事務局より、鎌ヶ谷市情報公開条例第8条各号に定める不開示情報は、含まれていないとのことでございます。</p> <p>また、傍聴者への配布資料については、回収を行うとのことですね。では、お諮りいたします。傍聴希望者5名について、傍聴を認めることとし、また配布資料については、回収することとしてよろしいでしょうか。</p>
委員全員	<p>— — —異議なし— — —</p>
委員長	<p>ご異議なしと認め、傍聴を認めることとし、配布資料については、回収することとします。</p> <p>では、傍聴される方が席に着くまでの間、しばらくお待ちください。</p>
	<p>傍聴者、着席</p>
委員長	<p>傍聴される方に申し上げます。会議を円滑に運営するために、係の者から渡された「遵守事項」を守るようお願いいたします。</p> <p>また、本日の配布資料は、会議終了時に回収いたします。それでは、議事に入ります。</p> <p>議題の「鎌ヶ谷市コミュニティバスききょう号の運行について」事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>改めまして都市政策室の浜田と申します。</p> <p>ただいまより、コミュニティバス運営検討委員会の議事に入らせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは第2回鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会の資料のご説明をいたします。</p> <p>こちらの資料は事前に送付していたことから、時間の関係もあるため、重要点を中心に説明いたします。</p>

事務局	<p>2ページをお開きください。 全体の日程となります。 本日2月9日は第2回検討委員会の開催となっております。内容については記載のとおりとなります。</p> <p>3ページをお開きください。 本日の流れとなります。 はじめに、第1回検討委員会で説明した第2回の予定を示しております。アンケートの集計結果の報告、ききょう号の運行経路等の課題及び整理、対応策の実施方法の説明をいたします。運行ルート of 素案の提示を行った後に、次回の予定を説明したいと考えております。</p> <p>4ページをお開きください。 先ほどの資料と同様の内容となりますが、第1回で説明した第2回の予定です。 アンケートの集計は、事務局である都市政策室で行いました。ききょう号の課題及び対応策の整理、対応策の実施方法についても事務局である都市政策室で整理しました。内容については検討委員会の中で協議をさせていただきたいと思っております。 最後に、運行ルートの素案の提示ですが、こちらも事務局の方で作成いたしました。後程お配りしたいと思っております。運行ルートの素案の内容については、第3回の運営検討委員会の中で協議をさせていただきたいと思っております。</p> <p>5ページをお開きください。 アンケートの集計調査報告を説明いたします。</p> <p>6ページをお開きください。 集計報告前に、アンケート実施の経緯を説明いたします。 アンケートの実施にあたり、ききょう号のあり方を中心に考えております。ききょう号のあり方は、主に高齢者や障がい者の足となることであるため、それについて深掘りを実施いたしました。</p> <p>7ページをお開きください。 この深掘りの結果から、地域住民の足となるためには、バスを利用する人のことを把握することが重要と分かったため、市内の公共交通やコミュニティバス利用者に対し、利用者のことを把握するためのアンケートを実施しました。</p>
-----	---

事務局	<p>8ページをお開きください。</p> <p>アンケートは、公共交通利用に関するアンケートとコミュニティバスききょう号利用に関するアンケートの2種類実施しました。自治会全戸配付、市役所や公民館にアンケートを設置し、市のホームページに公開、バス停に二次元バーコードを貼り付けるなど、様々な方法で実施しました。</p> <p>9ページをお開きください。</p> <p>こちらはアンケートの質問内容となっております。</p> <p>公共交通利用に関するアンケートは、持続的なききょう号のため潜在ニーズや認知度を把握するために実施し、ききょう号利用に関するアンケートは、ききょう号利用者への不便なことや要望を確認するために実施しました。質問内容については、以下をご確認ください。</p> <p>10ページ以降でアンケート結果の説明をいたしますが、代表的なものを抽出した結果ですので、表すべての結果は先日送付したアンケート結果よりご確認くださいと思います。</p> <p>10ページをお開きください。</p> <p>こちらがアンケートの結果となります。</p> <p>公共交通利用者アンケートは1,440人、コミュニティバス利用者アンケートは217人の方から回答をいただきました。</p> <p>11ページをお開きください。</p> <p>こちらは、アンケートにお答えいただいた年齢分布の結果となります。どちらのアンケートも満遍なく、幅広い年齢の方から回答をいただいております。</p> <p>12ページをお開きください。</p> <p>こちらは職業についてとなります。職業についても、幅広い方から回答をいただいていることがわかります。</p> <p>13ページをお開きください。</p> <p>こちらは、特に多い外出目的の結果となっております。</p> <p>結果といたしましては、日常的な買い物が一番多く、次に通勤通学、飲食等娯楽、病院等の目的が続きました。また、コミュニティバス利用者の方は、市役所への利用目的が多いこともわかりました。</p> <p>14ページをお開きください。</p>
-----	---

事務局	<p>こちらは特に多い外出の移動手段の結果となっております。</p> <p>外出の移動手段では、自家用車、自転車、鉄道が多く、今後高齢化が進む中で、免許返納者が多くなった場合にバスの利用が高くなっていく可能性もあると思われます。</p> <p>15ページをお開きください。</p> <p>ききょう号の利用目的を確認したアンケート結果です。</p> <p>ききょう号の利用目的として多かったものは、病院、日常的な買い物、趣味娯楽、駅に行くための移動手段、市役所方面への利用が特に多い結果となっております。</p> <p>16ページをお開きください。</p> <p>前ページまでの分析をここでさせていただいております。</p> <p>まず赤色の枠部分です。ききょう号の利用目的は、病院需要が高くなっていることがわかります。また、駅に行くための移動手段としても、需要が高いことも判断できます。買い物につきましては、徒歩で行く可能性が高いと考えられる結果となっております。</p> <p>次に、水色の枠部分です。</p> <p>ききょう号の利用目的と外出目的で、市役所利用の回答数が多い結果となっております。このことから、ききょう号は市役所利用の需要が高いと考えられます。</p> <p>最後に、緑色の枠部分です。</p> <p>自家用車や自転車、鉄道を利用している方が、今後、現在の移動手段の代替でききょう号を利用する可能性が高いと考えられます。</p> <p>17ページをお開きください。</p> <p>主な鉄道駅利用についての結果となります。</p> <p>アンケートの結果から、東武鎌ヶ谷駅と新鎌ヶ谷駅の利用者が多い結果となりました。このアンケート結果に、住んでいる地区を取り込んだ結果を次の18ページで示します。</p> <p>18ページをお開きください。</p> <p>公共交通利用者アンケートの主な鉄道利用駅と住んでいる地区の結果です。鎌ヶ谷市を6地区に分けたクロス集計をさせていただいております。</p> <p>赤字の数字で示しておりますが、住まいの地区に近い駅の利用者が多くなっていることがわかります。</p> <p>気になる点については、青字で示してあります。</p>
-----	--

事務局	<p>新鎌ヶ谷駅については、どの地区からも需要が高い傾向となっております。南部地区でも、市役所、新鎌ヶ谷駅の利用が多い結果であるため、グリーンハイツ方面から新鎌ヶ谷駅方面へ西線2の直通的必要性が高いとも考えられました。東部地区、西部地区からも、新鎌ヶ谷駅の利用者は多い結果でした。</p> <p>東武鎌ヶ谷駅については、中央東地区でも需要が高い傾向となりました。また、西部地区から東武鎌ヶ谷駅までききょう号の運行がありますが、西部地区から東武鎌ヶ谷駅の利用者は少ない傾向となりました。</p> <p>19ページをお開きください。</p> <p>コミュニティバス利用者アンケートでも同様に、住まいの地区と主な鉄道利用駅についてのクロス集計を実施しました。公共交通利用のアンケート同様の傾向を確認することができました。</p> <p>鉄道利用駅と住んでいる地区のクロス集計結果は、以上となります。</p> <p>20ページをお開きください。</p> <p>こちらは、鎌ヶ谷市コミュニティバスききょう号の1週間のうちの利用頻度の結果となっております。</p> <p>公共交通アンケートの結果から、ききょう号はほとんど利用されていないことがわかりました。ききょう号利用者の中でも、週1日以下の利用者が217人中132人と、約60パーセントであることがわかりました。</p> <p>今後運行計画を策定し利便性が高くなることで、利用者を増やせる可能性があることがわかります。</p> <p>21ページをお開きください。</p> <p>こちらにつきましては、ききょう号で不便と感じたことのアンケート結果です。運行本数が少ないという意見が最も多い結果でした。</p> <p>この結果を、コミュニティバスの路線別にクロス集計しました。次のページでお示しします。</p> <p>22ページをお開きください。</p> <p>こちらは、ききょう号で不便と感じたことを、コミュニティバス利用者アンケートからクロス集計した結果となります。</p> <p>運行本数が少ないとの意見が1番多い結果となっております。</p> <p>それ以外の意見といたしましては、南線につきましては、時間どおりにバスがこない、遅い時間にバスがない、位置情報サービスがないなど、運行関係の意見が多い結果となりました。</p>
-----	--

事務局	<p>東線につきましては、遅い時間にバスがない、早朝にバスがないという意見が多い結果となりました。</p> <p>西線につきましては、定員で乗れない、支払い方法が少ないという意見が多い結果となりました。</p> <p>西線2につきましては、駅で乗り継ぎしにくいという意見が多い結果となりました。そのほかに目的地まで遠回りであることや、目的地へ直接行かないなどの意見も多い結果となりました。</p> <p>23ページをお開きください。</p> <p>コミュニティバス利用者アンケートから、ききょう号で今後対応して欲しい取組を確認した結果です。</p> <p>運行本数を増やして欲しいが、全線で一番多い結果となっております。</p> <p>南線につきましては、遅延対応など運行の要望が多い結果となっております。</p> <p>東線も南線ほどではありませんが、遅延対策関係の意見や、運行時間を早く又は遅くしてほしいとの意見が多い結果となっております。</p> <p>西線は、バス車両の改善、支払い方法の対応要望が多い結果となっております。</p> <p>西線2は、西線の意見のほか、利用者の多い施設と地域のルート設置をしてほしいとの意見が多いアンケート結果となっております。このアンケート結果は、市役所方面への要望が多い結果と考えられます。</p> <p>24ページをお開きください。</p> <p>公共交通アンケートの結果から、利用促進に効果的と思う取組を地区ごとにクロス集計した結果となります。</p> <p>運行本数を増やす、運行案内をわかりやすくする、利用者の多い施設と地域のルート設置、バス停の数を増やすが上位となっております。</p> <p>先ほどの23ページのききょう号のアンケート結果と上位はほぼ変わらない内容となっております。その中で、運行案内をわかりやすくするという結果が2番目となっております。この結果から運行案内をわかりやすく周知することによって、利用が増える可能性もあると考えられます。</p> <p>また、地区別で上位の項目を地図に記載しましたが、利用者もアンケートを回答しているため、路線の課題を意見として出していることが多い傾向となっていることがわかりました。</p> <p>25ページをお開きください。</p> <p>ききょう号の運行経路等の課題及び対応策の整理、対応策の実施方法</p>
-----	--

事務局	<p>についてご説明いたします。26ページをお開きください。</p> <p>市の把握している課題と、アンケートを通して確認できた課題を記載しております。27ページで、内容と対応策をまとめて説明しますので、ここでの説明は割愛いたします。</p> <p>27ページをお開きください。</p> <p>ききょう号の運行経路等の課題及び整理、対応策の実施方法についてです。アンケートの結果や市が課題として把握していること、考えられる対応案をまとめました。</p> <p>まず、全てのバスに共通する内容について説明いたします。</p> <p>地域とバスの課題で、運行本数が少ない、早い時間や遅い時間にバスがない、利用時間が合わないことについては、バスの運行本数増加やバスの間隔を長くし早朝や夜への時間拡大をすることが挙げられます。</p> <p>これらの内容は、バスの運転手確保問題や利用者の年代等の情報をもとに判断が必要になると考えられます。</p> <p>続いて、ベンチや屋根がないことについてです。現在着手しておりますが、新鎌ヶ谷駅の停留所に令和5年度中にバス停の上屋とベンチを設置します。また、東武鎌ヶ谷駅のバス停留所には、現時点で令和6年度にバス停の上屋とベンチを設置する予定としております。</p> <p>その他の停留所の整備につきましては、バス停の上屋とベンチの整備方針を令和4年度に作成しましたので、それに基づき令和6年度以降に検討していきたいと考えております。</p> <p>運行案内がわかりにくいことにつきましては、駅前に案内板設置など、情報の公開の仕方を検討することが必要ではないかと考えております。</p> <p>収支アップの方策を入れていないことにつきましては、広告などを導入し、事業者へ収入還元ということを案として記載しております。</p> <p>続きましてそれぞれのバスの課題と対応案について説明させていただきます。</p> <p>東線につきましては、佐津間の一部交通空白地域が課題として考えております。事務局で対応案を検討しましたが、幅員などの関係から、対応は困難と想定しております。</p> <p>東線、南線につきましては、時間どおりにバスがこないということが課題としてあります。東線は、時刻表の精査や位置情報サービスの導入などを考えられる対応案として記載させていただきました。</p> <p>南線につきましては、こちらも時刻表の精査と、県道2路線を走行していることで時刻表の精査のみでは対応が難しいことから、必要性を踏まえルートの変更を記載させていただきました。位置情報サービス導入も、案として記載させていただいております。</p>
-----	--

事務局	<p>位置情報サービスがないという課題は、先ほどの説明と重複しますが、位置情報サービスを導入することが考えられる対応案であると記載しております。</p> <p>船橋西二和の交通空白地域につきましては、バスを延伸することを対応案として記載しております。</p> <p>西線につきましては、ハイエースで走行していることから、定員で乗れないということがアンケート結果からも分かっております。考えられる対応案といたしましては、ルートの変更を記載しました。利用者が多く降りるバス停に先に停車する方法を対応案として記載しました。</p> <p>バスをポンチョに変更することを考えられる対応案として記載しましたが、道路の幅員や通行の安全性の観点から対応は難しいと考えております。</p> <p>西線と西線2の支払い方法が少ない課題につきましては、支払い機器の導入を対応案として記載させていただきました。この対応案については、バス事業者様と調整が必要である内容となります。</p> <p>西線2の駅などで乗り継ぎしにくい課題についてです。この内容はアンケートでも、利用者からの問合せでも多くあります。西線2の利用者から、市役所へ直行便の要望が多くきていることから、乗り継ぎの必要性をなくすため、市役所への直行便を設置することを考えられる対応案として記載しました。</p> <p>続いて中沢の一部交通空白地域の課題ですが、バスの延伸と対応案に記載しました。この内容は、バスを通行する道路の幅員や、通学路、見通しの悪い交差点を走行する場所もあることから、対応が難しいと考えております。</p> <p>以上がアンケート結果からまとめた課題及び考えられる対応策の案となります。</p> <p>ここで一度この内容について、委員の方のご意見をお聞かせいただきたいと思っております。</p>
委員長	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>アンケートにつきましては、1000票以上という数を取っていただいて、路線別に詳細な分析をしていただいておりますが、アンケートの結果につきまして皆様からご質問やご意見等ある方いらっしゃいますでしょうか。</p>
A委員	<p>支払い方法が少ないということについて、内容がわからないため教えてください。</p>
事務局	<p>ご質問があった点につきまして回答いたします。支払機器の関係ですが、現在、鎌ヶ谷市で運行しているコミュニティバスの路線の中で、西線と西線2については、ICカードが使えない状況となっております。</p>

事務局	以上です。
委員長	ありがとうございます。ほかにはいかがですか。
B委員	Bでございます。 位置情報サービスがないという意見が結構出てきているように思われますが、もし入れるということであれば、運行受託している3つの会社が共同で使えるような機器を導入していただかないと、利用者が利用しにくくなるので、導入するのであれば、同じ機器で対応してほしいと感じております。また、運行会社側の手間がないような方法で進めていただければと思っております。以上です。
事務局	位置情報サービスの導入につきましては、全バス共通の課題と認識しております。導入にあたっては、運行事業者すべてに統一对応できるような検討を進めていきたいと思っております。
委員長	ありがとうございます。ほかにはいかがですか。
C委員	現在のバス停についてお尋ねしたいのですが、バス停自体にはバス停の名前と時刻表だけの表示でしょうか。 少々思ったのは、どこ行きかバス停に書いていないような気がしたのですが。
事務局	バス停のききょうの絵の下に、時刻表が貼っており、次のバス停名までは表示してあります。
C委員	次のバス停名の記載は意味がないと思います。本来、全部のバス停で、どこに向かっているか表示されていればもっと利便性が上がるのではないかと思います。
事務局	補足で失礼いたします。 新鎌ヶ谷駅、病院や市役所などの利用者が多いバス停には、時刻表や目的地名、路線図が設置してあります。 それ以外のバス停につきましては、時刻表や路線名、バス終着駅、バス会社の連絡先が貼られております。どこに向かっているかも記載してあります。説明したもの全て記載があると把握しておりますが、今一度チェックはして参りたいと思っております。
委員長	バス停によって若干表示の仕方が違うということですね。 ありがとうございます。ほかにはいかがですか。
D委員	Dでございます。 先ほどB委員の方からの意見でもありましたが、位置情報サービスがないということについてです。 サービスを提供するということで、スマートフォンでの提供が一般的になってくると思います。バスを利用されている方々、やはり年齢が高い方が多いと思います。

D委員	特に駅ですが、そちらにおいてはサイネージ等を活用して、誰でも状況を確認できるようにすることが必要ではないかと思います。以上です。
事務局	位置情報サービスのほかに、デジタルサイネージ等の利用ということもお話ありましたので、総合的に検討していきたいと思います。 その際は、運行委託先であるバス事業者様との協議を経た上で、対応について考えていきたいと思います。
委員長	予算との関係もあると思いますし、様々な自治体さんで位置情報サービスを導入しているところもあると思います。何か参考にさせていただいて、どのような方策が良いか検討していただければと思います。 ほかにはいかがですか。
E委員	委員のEでございますよろしくお願ひします。 ききょう号の在り方をどのように考えるかということで拝見させていただいた中で、地区別のクロスはかなり緻密にされておりますが、年齢的なものをされておりますでしょうか。高齢者の方がどのような意向なのか、住まいの地区以外にもそのようなクロスがあると思います。 このアンケート結果のクロスについては、どの辺までやられたのか、少し補足してお伺いできないかと思います。
事務局	今いただいたご意見ですが、年齢と路線のクロス集計は出してない状況です。以上です。
E委員	要望の内容が高齢者についての方や、例えば、年齢のみではなく、男性や女性の性別もありますので、こうしたものをクロスすることによって少し何がどう違うのかっていうのがちょっとわかってくる部分があると思います。 統計的に見ても非常に有効ですので、少しそういう部分も含めて、ご検討するとさらに利用動向が明らかになってくると思います。 今後検討いただければと思います。
委員長	利用者属性と意向のクロス分析についていかがでしょうか。
事務局	資料として追加したものを作成したいと思います。
委員長	ありがとうございます。ほかにはいかがですか。
F委員	Fです。 私どもが使用している車両は、ワゴン車で乗客10名となっております。実際は15名乗りの車両ですが、車いすを積むためパワーリフトを積んでいる関係で、定員が10名となっております。 利用者が2人3人と乗りきれない関係から、車両を変えて欲しいというアンケート結果ですが、車両にリフトが必要かどうか疑問に感じております。リフトを下ろして車椅子を乗せて上に上げると、15分から20分遅れが発生します。十数年運行しておりますが、車椅子でお乗

F委員	<p>りになる方がほとんどゼロに近いです。これを撤去すれば、2人利用者が乗れることとなります。</p> <p>大きい車両に変えても道が狭く、中沢やくぬぎ山は狭くて入れません。ポンチョクラスでは、途中ですれ違ふことができない箇所は何ヶ所もあり、絶対事故に繋がります。</p> <p>そのような危険も含んでいる中での車両を大きくするという事は、かなり難しいと感じます。</p> <p>ポンチョへの変更が困難ということが今回出ておりますが、ハイエースであれば車椅子対応がどこまで必要か考える必要があります。</p> <p>福祉関係の方々からみて、リフトは絶対必要ということであれば良いのですが、例えば10年15年運行していてリフトを使っていない状況で、リフトがなければ1人、2人の乗れない方が乗れるといつも疑問に感じています。</p> <p>それについて皆さんで検討していただきたいなと思います。</p> <p>ノンステップバスの話が出ている中で、車椅子の対応にワゴン車の場合は問題があるということを皆様にご報告させていただきました。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。事務局から今のご意見に対して回答はありますか。</p>
事務局	<p>西線と西線2で、今走行しているバスがハイエースということの説明いただいたと思います。</p> <p>事務局として、西線で乗り切れない対策としては、ルートの見直しを考えております。</p> <p>車椅子の方のリフトについての対応は、福祉部局の方とご意見をすり合わせなければ判断することはできないと考えております。</p>
委員長	<p>案の1つとして、そのような選択肢も考えて良いのではないかとご意見だと思しますので、必ず積まなければならないかということは、確認した方が良いと思います。</p> <p>ありがとうございます。ほかにはいかがですか。</p>
G委員	<p>今バスの乗り残しの人がいることでの対応案や、本数を増やすという話も対応案としてありますが、グリーンハイツに今住んでおり、市役所まで乗っていきたく思っていると、いつも病院に行く人が大体決まった日に決まった人数の人が大体乗っているようであるため、私が乗るとほかの人が乗れなくなってしまうと思ひ遠慮して路線バスを利用した経験があります。そのようなことがあったため、乗ろうと思ってもなかなか乗れないですね。</p> <p>病院に行く人は予約の時間があることから、そのバスに乗らないと駄目であるため、どうしてもそのようなになってしまうことが実情です。</p>

G委員	<p>今アンケートの結果で、本数を増やしてくださいと意見がありますが、時間を縮めて本数を増やすことができないかお尋ねしたいです。</p>
F委員	<p>今の西線と西線2ですが、北初富駅から東武鎌ヶ谷駅まで2台が繋がって走っております。重複区間であるため、ロスタイムと感じております。</p> <p>2台が重複せず、西線2が市役所の方に抜け、それぞれの区間を走行すれば、少し本数が増えるのではないかと思います。以上です。</p>
委員長	<p>次のルート提案のところに出てくるかもしれないということですね。ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>アンケートの分析に関しては、追加で分析してくださいという内容とがありました。また改善案については別の考えもあるのではないかといい意見が出ましたので、それは整理しておいていただければと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>では、次にあります運行ルートの素案の提示について、説明を事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>運行ルートの素案について説明します。</p> <p>2ページをお開きください。</p> <p>運行ルートの素案の提示をさせていただきますが、最初に留意事項をご説明したいと思います。</p> <p>今回のルートの素案は、現行のルートから地域や事業者への影響を最小限に抑え、ルート関連のアンケート結果を反映したものとなっております。</p> <p>駅勢圏で鉄道駅は半径800メートル、バス停勢圏は半径300メートルの範囲を考慮しており、ここをバスが走行し、交通空白地域を極力減らすように検討しております。ただし、現行ルートと異なるルートを設定する場合には車両制限令にのっとり、また、歩道がない通学路など危険を伴う箇所については、通らないようにルートを検討しております。</p> <p>また、このルート素案は確定したものではありませんので、市民の方の混乱を招く恐れがあるため、素案については機密内容として情報の取扱いにはご注意くださいと思います。</p> <p>今後、ルート説明をしますが、ルートについての質問は今回の検討委員会でお話を聞かせていただきたいと思います。ただし、ルートに関する意見については、この委員会後に皆様のそれぞれ団体の代表の方が来ていただいておりますので、持ち帰っていただいて意見を受けたいと思います。意見の受け付け方法については最後に説明したいと思います。</p>

事務局	<p>3ページをお開きください。 先ほどご説明した駅勢圏、バス停勢圏を示したものになります。 赤い色がコミュニティバスききょう号のバス停勢圏となります。 青が路線バスのバス停勢圏となります。 オレンジ色の大きい丸が、鉄道の駅勢圏となります。 白い地域が交通空白地域と考えられる地域となっております。</p> <p>4ページをお開きください。 前回の第1回の会議でご説明しました車両制限令となります。 新規のルートを検討する場合は、右下緑色枠の数字以上の幅員の確保が必要ですということを説明しております。</p> <p>5ページをお開きください。 先ほどご説明しましたききょう号の課題及び対応策の整理、対応策の実施方法について、アンケートから見えた課題に対して対応策について検討したものです。 ルートに関係ないものについては、グレーで薄く表示してあります。</p> <p>6ページをお開きください。 ルートの素案と設定理由をご説明いたします。それぞれ路線ごとに行いたいと思います。 素案については、あくまでも素案で確定したルートではないことから、そちらを念頭に聞いていただけたらと思います。</p> <p>7ページをお開きください。 東線、東線2についてです。 東線、東線2については、ルートの変更は考えておりません。ただし、一部の停車回数の変更を案として記載しました。 現行のルート、現行の運行では、新鎌ヶ谷地域に走る際に、新鎌ヶ谷駅、総合病院、市役所に停車します。そこから総合病院、新鎌ヶ谷駅という順番で停車してから各地に向かっておりましたが、この新鎌ヶ谷地域の停車を新鎌ヶ谷駅、総合病院、市役所については、それぞれ1回の停車に変えたいと思っております。</p> <p>8ページをお開きください。 先ほど説明した内容ですが、上り下りで市民が同じバス停を利用していることから、誤乗車するという意見がありましたので、停車を1回に変えたいと思います。1回に変えることによって、時間も短縮されることから、これを案として記載しました。</p>
-----	---

事務局	<p>9ページをお開きください。</p> <p>佐津間地区で要望されていた、交通空白地域の解消を検討しました。東線2は、現在水色のルートを走行しています。東邦病院から北部公民館、北部小学校を経由し県道に戻るルートとなっております。</p> <p>西佐津間地区の交通空白地域は、幅員が3.6メートル程度しかない道路のため、ポンチョが走行する場合幅員が足りないことから、今回検討しましたが、ルートの変更には至らなかった状況となっております。</p> <p>また、自衛隊横を通行した場合、現在のバスルートやバス停勢圏に対して影響があるため、ルートを変更せずに現行のまま対応することを案として記載しました。</p> <p>東線、東線2は以上となります。</p> <p>10ページをお開きください。</p> <p>南線の説明をします。上が現行ルートで下がルート変更の素案を示しております。</p> <p>黒の点線部は地域からの要望が出されておりましたが、初富駅に近い県道であり渋滞が懸念されることや、交通空白地域でないことから、ルート素案からは除いております。</p> <p>変更点については、1点目が、東線で説明したことと同じく、新鎌ヶ谷駅の周辺の停車を1回にする案です。</p> <p>2点目は、鎌ヶ谷大仏駅や新鎌ヶ谷駅から来たバスは、一度東武鎌ヶ谷駅に停車する案です。新鎌ヶ谷駅からのバスは、今とは変わりありませんが、鎌ヶ谷大仏駅からのバスは南鎌ヶ谷に行く前に一度東武鎌ヶ谷駅を経由してから南鎌ヶ谷に回るルートを案として記載しました。</p> <p>3点目は、東武鎌ヶ谷駅より南側のルートはすべて時計回りのルートの案です。</p> <p>4点目は、船橋西二和団地への延伸です。交通空白の解消を図ることができるため、案として記載しました。</p> <p>この提案ルートは左下の黒枠部分にまとめました。バスは鎌ヶ谷大仏駅を発車後、中央消防署前を経由し東武鎌ヶ谷駅へ向かいます。東武鎌ヶ谷駅を発車後は、時計回りに南鎌ヶ谷方面へ向かい、再度東武鎌ヶ谷駅に戻ります。その後、新鎌ヶ谷地区を目指して運行します。新鎌ヶ谷地区を出た後は、東武鎌ヶ谷駅に戻り、再度時計回りをして、東武鎌ヶ谷駅から鎌ヶ谷大仏駅方面に向け発車するルート素案となっております。</p> <p>このルートは、路線が少し長くなるため、運転手の休憩時間なども併せて検討する必要があると思います。</p> <p>設定理由を説明します。11ページをお開きください。</p>
-----	---

事務局	<p>1 点目の停車回数の変更は、東線と同じ理由です。停車回数を 1 回とすることで、運行の時間の短縮を図りたいと考えております。しかし、路線が長くなるため、運転手の休憩の対応など検討することが必要と考えられます。</p> <p>2 点目の東武鎌ヶ谷駅を経由することについては、東武鎌ヶ谷駅の利用者が多いことや、渋滞の遅延吸収のためとなっております。</p> <p>3 点目は東武鎌ヶ谷駅から南側のルートを時計回りにする案です。渋滞で遅延しにくくするため、このルートを設定しております。渋滞しにくい道を運行することと、東武鎌ヶ谷駅に行くバスが南側で現在の運行よりも約 2 倍になるということが良い点として挙げられます。悪い点としましては、南側地域の方が南側間で若干今より移動しにくくなるということが挙げられます。</p> <p>4 点目の船橋西二和団地への延伸ですが、交通空白解消のためルート設定しております。</p> <p>1 2 ページをお開きください。</p> <p>遅延の解消について先ほど説明しましたが、市内の渋滞状況を分析した結果となります。鎌ヶ谷市内の南側の周辺道路の通過時間を Google で算出したものです。</p> <p>赤枠四角の黄色で塗りつぶされている箇所が渋滞の時に、主にバスの遅延が発生しております。Google の道路情報や市民からの連絡、実際にバスに乗った調査から明らかとなりました。</p> <p>新鎌ヶ谷駅付近以外でも渋滞が発生しております。右下 C の鎌ヶ谷大仏駅から B の商工会館までの区間や、左下 G の東武鎌ヶ谷駅から F のヨークマートまでの区間で、渋滞が頻繁に発生します。</p> <p>渋滞が発生する時と渋滞しない時の差がバスの遅延につながります。県道船橋我孫子線の場合、最大 1 3 分あることがわかりました。</p> <p>ルートの素案につきましては、混雑する道を通らないよう時計回りとして考えております。遅延に対しては、効果的であると考えております。</p> <p>1 3 ページをお開きください。</p> <p>こちらは、実際にバスに乗って調査した結果です。</p> <p>1 番右の列が遅延時間です。赤枠で示しておりますが、県道が渋滞時に約 2 0 分程度の遅延が発生することがわかりました。</p> <p>西線の説明をします。1 4 ページをお開きください。</p> <p>上が現行ルートで下が素案となります。</p> <p>現行に対して変更箇所 1 点目です。新鎌ヶ谷地区を出たバスは、入道</p>
-----	---

事務局	<p>台方面に向かって現行は運行しておりますが、入道台方面を通らず初富保健病院の前を通る道を案として記載しました。</p> <p>2点目は、初富駅から東武鎌ヶ谷駅までの区間ですが、一部重複区間がありますので、こちらをやめることを素案として提案したいと思います。</p> <p>3点目につきましては、くぬぎ山付近を走行する場合は、現行ルートと逆向きの走行を提案したいと思います。</p> <p>15ページをお開きください。</p> <p>1点目の入道台地域の変更ですが、この地域は利用者が1週間で約1名と利用者がほぼいない区間であったことと、保健病院へ経路が伸びることから素案として入れさせていただきました。</p> <p>2点目のルート廃線は、西線2と重複していることとアンケートで東武鎌ヶ谷駅の利用が西部地区で少なかったことから、今回とりやめることで提案したいと思います。</p> <p>3点目の現行と逆向き走行ですが、満員でバスに乗りきれない対策として、今までの利用状況の中から降車する方が多い地域を先に走ること、乗り残し対策ということで、逆向きという案を提案させていただいております。</p> <p>16ページをお開きください。</p> <p>くぬぎ山のルートを逆向きにする案ですが、バス停52番梨花苑、バス停53番官舎前で、満員でバスに乗りきれない事象が発生しております。</p> <p>発生事象から、下りる利用者が多い54番くぬぎ山二丁目、55番くぬぎ山三丁目を先に回ることによって、乗り残し対策ができると考えたため、このルートを設定しました。</p> <p>17ページをお開きください。</p> <p>バスのサイズを大きくすることについて検討しましたが、踏切付近のクランクを走行する際に、対向車とのすれ違いが非常に困難であり走行が難しいと考えられるので、現在の車両で検討しました。</p> <p>そのほかに、くぬぎ山三丁目地区の利用者が多くポンチョが通れる道を検討すると利用者の利便性が下がることも併せて考えられるため、車両の変更は難しいと考えております。</p> <p>続いて西線2を説明いたします。18ページをお開きください。上段が現行、下が素案です。</p>
-----	--

事務局	<p>1点目は、市役所方面へ直行できるルートを素案として記載しました。</p> <p>2点目は、すべて運行を右回りの運行を素案として出しました。</p> <p>3点目は、北初富駅付近の渋滞対策として、一部変更したルートを素案として提案させていただきます。</p> <p>理由の説明をさせていただきますので、19ページをお開きください。</p> <p>1点目の市役所方面へ直行する案ですが、西線2の利用者の方や南部地区方からのアンケート回答から、市役所へ直行の要望が多かったので、こちらを提案させていただきます。</p> <p>2点目の右回りの運行については、運行本数を平準化するため右回りのみの運行としました。</p> <p>3点目のルートの追加については、北初富駅前の交差点で、渋滞が発生していることが多いため、遅延対策のためルートを変更した提案となっております。変更することによって、東中沢地域の方の利用も見込まれます。</p> <p>20ページをお開きください。</p> <p>東中沢地域の市道22号線と言われる道路の南側のエリアですが、ルートを検討した際に、道路の幅員がハイエースの通れる幅員に達していないことが確認できました。また、中部小学校地区の通学路であることや見通しの悪い交差点を通行することになるため、運行経路案からは除かせていただいております。</p> <p>以上が、5つの路線の素案についてです。</p> <p>21ページをお開きください。</p> <p>今回のルートの素案についてご意見がある場合、意見の集約方法について説明いたします。</p> <p>ルートの変更について意見につきましては、指定の用紙を市役所都市政策室へ郵送していただきたいと考えております。</p> <p>ルートの変更、ルート変更の素案に対する意見がある場合につきましては、他路線や地域へ与える影響などもあることから、1から3のものについて記載をしていただきたいと思います。</p> <p>1点目は、ルート案停車要望などです。</p> <p>2点目は、データ等の根拠があればいただきたいと思います。</p> <p>3点目は、ルート素案から変更する場合、地域や運行会社へ与える影響の抑え方などがあれば、記載していただきたいと思います。</p> <p>下に記載をしておりますが、例えば東線を馬込沢駅まで伸ばして欲しいというのではなく、理由も付けて提出していただきたいと思います。</p>
-----	--

事務局	<p>こちらにつきましては、皆様は団体を代表されている方ですので、お持ち帰りになっていただいて、意見として提出していただけたらと思います。</p> <p>目安の期限として2月29日までとさせていただきたいと思います。</p> <p>用紙と封筒は先ほど配ったものを利用していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>以上で素案についての説明とさせていただきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>素案に対する意見については後程また事務局宛に送って欲しいということですが、少しコメントがあればと思いますので、まず、バス会社さんからそれぞれ簡単にコメントいただければと思います。新京成バス窪田委員からよろしくお願いします。</p>
窪田委員	<p>南線の新京成バス窪田でございます。</p> <p>ルート素案を拝見させていただきました。</p> <p>利用者からの南線の遅延対策をしてほしいとの意見がありますが、運行している事業者としても、現行ルートは遅延しやすいということは非常に認識しているところです。</p> <p>この素案は、渋滞しない方向のルートで考えられているので、新京成バスとしては良いルート案であると思っております。</p> <p>下の米印にございますが、ルートを見ていただくと東武鎌ヶ谷駅に4回通り、新鎌ヶ谷駅まで向かうという長いルートとなっておりますので、連続の運行時間はかなり長くなります。渋滞のクッションや乗務員の休憩の時間等も考慮して、鎌ヶ谷市役所や東武鎌ヶ谷駅で、時間を設けていただきたいと思いますということが我々の感想となっております。</p> <p>また新規に案として出していただいた船橋西二和団地については、低床のポンチョバスとなりますので、底がこすれる問題もあることから案が採用された場合、乗り場については要検討という形でさせていただければと思います。</p> <p>感想としては以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続けて、鎌ヶ谷観光バスの徳永委員、よろしくお願いします。</p>
徳永委員	<p>2台の車が重複することなく走ることは、非常に効率的であると思います。</p> <p>また、新しく走るコース西線2の方の素案ですが、起点は市役所、駅、病院のどこになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>運行の始発起終点については、想定では今現在、市役所を想定しております。</p> <p>しかし運行時刻との兼ね合いもあるので、起終点については改めて協</p>

事務局	議をさせてもらいたいと思います。
徳永委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>県道船橋我孫子線の渋滞の読みが難しいということがあります。時刻表を作るにあたっては、慎重に組んでいただきたいと思います。</p> <p>それからバス停の中で、住民の方から言うとあれば便利ではあるけれども利用されないバス停は、極力バス停を置かないということもありかと思えます。年間を通じて、1人2人というのはどうかと思えます。</p> <p>早発はあってはならないため、滑らかに運行した時にどこで調整すれば良いかという話にもなります。少しでも短く時間を取ってということであれば、乗らないところは割愛ということも計画の中に入れてもらってもよいのではないかと思います。例えば5年10年で社会情勢が変わってくるということであれば、またそこにバス停を置いても良いのではないかと思います。</p> <p>以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>最後に千葉レインボーバスの太田委員、よろしくお願いします。</p>
太田委員	<p>私も担当させていただいております東線と東線2についてですが、現状とほとんど変更が無しとなっております。</p> <p>変更部分新鎌ヶ谷の周辺の駅、市役所、病院です。</p> <p>こちらについての効率的な運行ということを目指して変更するということの検討と思えます。すべてのルートに言えることと思えますが、駅での乗り継ぎに関しての内容です。東線は特にですが、施設へ乗り継いで利用ということがよくあります。乗り継ぎの際に遅延が多く発生してしまうと、乗り継ぎができないということで、お客様の利便性の阻害になってしまうということがあります。</p> <p>ぜひとも時刻の設定と各ルートを効率的な運行ということを目指して、内容の改変ということをやっていくとは思いますが、渋滞の遅延の吸収を検討しながら、乗り継ぎも考えていただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは委員の皆様方から素案についてご意見、ご質問等あれば受けたいと思います。いかがでしょう。</p>
E委員	<p>Eでございます。</p> <p>資料は機密と記載がありますが、一方で本日以降に意見を団体としてまとめておっしゃっていただきましたので、委員によって考え方の差が出ないように、機密内容の取扱いや意見の提出について少し補足していただけたらと思います。</p>

事務局	<p>ご意見ありましたとおり、広げずに話をさせていただくことは難しいと思われま。社会福祉協議会であったり、商工会であったり、自連協であったり、老人クラブであったり、それぞれの団体の中でお話を今後していただいて、委員の方から意見書ということで挙げていただきたいと思。います。</p> <p>その際に、委員の方にお配りした素案につきましては、お持ち帰りいただきたいと思っております。</p> <p>今回提案した素案をもとに、それぞれ皆様の団体の中で協議していただけたらと思。います。</p> <p>その上で、各団体を代表してのご回答というか意見ということで述べていただきたいと思。いますので、よろしくお願。いしたいと思。います。</p>
E委員	<p>団体ごとに、資料はコピーをとって持ち帰ってもらうことは、NGということによろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>コピーをとってまわしていただくより、集まってお話していただいた方が、混乱を招かないという点ではよろしいのかと思。います。</p> <p>資料の方には、決定されたものでありませんということに記載しておりますが、十分注意していただいて対応していただけたらと思。います。</p>
A委員	<p>Aです。</p> <p>西線2について質問です。ハイエースで運行しておりますが、ポンチョに変更するという案はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>4ページをお開きください。</p> <p>ポンチョを走らせる場合は道路幅員が5.66メートル必要ですが、西線2のルートである東中沢地区は、現行5.45メートルの幅員であるため難しいと判断しております。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
委員長	<p>ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>今日の素案はまだ決定ではなく第1次案ということですので、皆様の団体様に持ち帰り議論していただき、意見があればそれを委員の皆様を通じて事務局に出していただくという形で対応をよろしくお願。いいたします。</p> <p>何かほかに全体を通じてご意見ご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>ないようですので本日の議題については以上で終了となります。</p> <p>事務局から何かご連絡等はございますか。</p>
事務局	<p>次回の検討委員会ですが、令和6年の5月頃を予定したいと考えております。</p> <p>本日や2月末までにいただいた意見につきましては、検討して報告させていただきます。と思。います。</p>

事務局	<p>それ以外に次回は、時刻表や運行経費について、議題とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の追加の説明は以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>最後、司会にお返しいたします。</p>
司会	<p>本日の会議は以上で終了させていただきます。</p> <p>皆様お疲れ様でした。</p> <p>傍聴人の方はこれで退出となります。資料は椅子の上に置いてご退出願います。</p> <p>ありがとうございました。</p>

会議議事録署名人の署名

以上、会議の経緯を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和6年2月20日

氏名 窪田 智之

令和6年2月22日

氏名 横井 道男